

# 福祉にいがた

Fukushi Niigata

10月号

2015

第758号



村山 陽「柿の実の熟す頃」（一水会委員・上越市在住）

## CONTENTS

### 巻頭特集

ユニゾンプラザに「いきいき生活応援館」オープン  
福祉用具普及と情報発信基地として活用（2・3面）

● 家族みんなで知ろう！学ぼう！

11月15日、新潟市で福祉・介護・健康フェア

● 「Dr. ヤマゴンの健やか通信」——その十一

● 県内市町村社協トップが燕市などで初の視察研修

● これからの地域リハビリテーションと福祉を考える

# 福祉用具普及と情報発信基地として活用



稲毛秀一郎  
取締役専務

福祉機器展示室の委託運営は2003年に始まりました。同社は、この最初の公募に応じたものの縁がなく、今回出店が実現しました。

しかし、この10年余の間に、出店の目的はかなり変わりました。同社の創業は1978年とのこと。メディカル青山という名で、医療機器の販売・修理の会社として発足しました。その後福祉機器関係に事業を広げ、介護保険が始まると

## 本店のコンセプトは「気軽に入れる明るい店」

4月以来休館していたユニゾンプラザ（新潟市中央区上所2-2-2）の福祉機器展示室が10月1日、あおやまメディカル㈱（本社・新潟市中央区湖南27-2-11）が運営する「いきいき生活応援館ユニゾンプラザ店」として、

同時に本格参入しました。初公募の行われた2003年当時は新潟市西区青山の聖園病院近くに本店がありました。しかし、手狭なため広いスペースが欲しかった」と言います。併せて「ユニゾンプラザというブランド力も魅力だった」のだそうです。

しかし今回は当時と事情が違います。ブランドに伴う信用度アップの望みは変わらないのですが、広い店舗確保は既に実現しています。

同社は、2008年に新潟市民病院近くに「県内では最大クラス」の本店を建て移転しました。旧本店の

新しい新たに再オープンしました。店舗としてはもちろん、研修会場や「まだまだマイナーな福祉用具の認知度を上げるための情報発信基地」として活用したいと考えている稲毛秀一郎取締役専務にその想いを聞きました。



本店のノルディックウォークコーナー

展示スペースと比べても4倍くらいの広さです。本店を造る際、特に気を配ったのが「明るさを前面に押し出す」ことでした。

かつて「介護」という言葉には暗いイメージがつきまわっていましたが、市民にとっては「隠すもの」であり、「介護ショップって入りにくい」と客に言われたこともあったそうです。

そのため壁は、ピンクに近いベージュ色にし、ショップには「いきいき生活応援館」と名付けました。積極的に前を向く姿勢を込めたのです。「やわらかいイメージを持ってもらうため」ひらがなの社名に変えたのもこの時です。

## 客の要望くみ取り品揃えやレイアウト工夫

そして今回、力を入れてるのは、情報発信基地としての役割です。その実現

のため3つの事業を柱に据えました。一つは当然、店舗としての事業です。



自治会行事でノルディックウォークを体験する住民（新潟市内）

同社は、本店の他、新潟市西区寺尾に「てらお店」を持っていきます。こちらは住宅街に隣接する店。車でそこを目指して客が訪れる本店とは環境が違います。その違いが、商品の売れ筋に現れているそうです。本店は当然、目的買いの客が多く、欲しい物を探しに来て買っていきますから、専門的な品揃えになります。それに対し「てらお店」は、散歩のついでにふらりと立ち寄るような感じ。日用品的な小物を買う人が多いのだそうです。勢

い品揃えやショッピングプレイアウトは違う物にならざるを得ません。

ユニゾンプラザ店の立地は、この2つとはまた違った色合いを持っています。各種研修のついでに店を訪れる人が何を求めているのか「予想がつかない」のが現状です。

そのため、本店とてらお店の中間くらいの品揃えでスタートを切りました。今後、対話を重ねる中で客の要望を汲み取り、それを基にレイアウトや品揃えを変えていきます。「1年後には、全く違う店に変わっている」はずだ。

2つ目の柱は、都道府県の指定を受けて開催する福祉用具専門相談員指定講習会などの研修事業です。ユニゾンプラザには多くの会議室があるので、それを有効活用しようというものです。多くの人の目をユニゾンプラザに向ける効果もあります。

ところが、ここの会議室

の人気の高さがちょっとした誤算でした。部屋の確保が難しく、オープンと同時に

### 健康寿命延伸へノルディック・ウォーク推進

に実施する予定を見送り、今後の展開向け準備を進めています。



指定講習会の講義風景

そして3つ目は、ノルディック・ウォークの普及です。主にアクティブシニアを対象に、健康寿命を伸ばすことを目的に参加を呼び掛けます。

アンケートでは、運動と言えば9割が「ウォーキング」と答えるそうです。しかしウォーキングは、下半身だけの運動になりがちで

「意外に効果が薄い」と稲毛専務は言います。高齢者にとっては、転倒の危険もあるのです。

その点ノルディック・ウォークは、2本のポールを使うから転倒の危険は少なくなります。また、ポールを使うことで上半身の運動にもなり、ひねりの動作が加わることでインナーマッスル（体の中の筋肉）を鍛える効果があるのだそうです。とかく前傾姿勢になり



指定講習会で車イス体験

がちな高齢者の背筋をシャんとさせる効果も期待できます。

同社は、ノルディックウォーク・クラブ・にいがたを運営しています。会員は新潟市を中心に200人ほど。年間30回程度歩く会を実施しています。ユニゾンプラザは信濃川に面しており、やすらぎ堤という格好な舞台があります。ユニゾンプラザ店に拠点を設け、より一層の浸透を図ることにしています。

稲毛専務は、「福祉用具の認知度はまだまだ低い」と感じています。新聞・テレビを見ても、介護という言葉は出て福祉用具はほとんど紹介されません。「専門店があることも知らない人が圧倒的に多い」のです。そして、福祉機器展示室は「福祉用具普及のためにある」施設と捉えています。そのため「いろいろな人たちを呼び込みたい」と考え、活発な情報発信を行うことにしています。

福祉・介護・健康フェア2015

家族みんなで、知ろう！学ぼう！

11月15日(日) 9:30~16:30

朱鷺メッセ ウェーブマーケット (展示ホール) ほか

今年で4年目を迎える、新潟県社会福祉協議会・新潟市社会福祉協議会・新潟日報社主催の「福祉・介護・健康フェア」。今年は「みんなで考えよう！生活環境と地域包括ケアシステム」をテーマに、誰もが住み慣れた町で安心して暮らせるヒントを皆様にお届けします。

夫さん、大会サポーター・安藤美姫さんによるトークセッションが行われる

他、フロアホッケーの体験コーナーや、大会応援グッズの販売を実施します。

また、新潟日報紙面の連載でおなじみの「ペコロスの母に会いに行く」著者、岡野雄一さんからは、認知症を患った母親の介護体験を「がんばりすぎない介護」をキーワードにお話しいたします。

知的障害のあるアスリートによる競技会「スペシャルオリムピックス(以下SO)」冬季ナショナルゲームが来年2月に新潟で開催されることを受け、今年フェアではそれに関連したプログラムを実施します。メインステージでは、SO日本名誉会長・細川佳代子さん、SO新潟大会実行委員長・平山征

水前寺清子さんによる

また、演歌歌手の

### 同時開催 世代間交流事業

子どもからお年寄りまで誰もが気軽に楽しめる「ニュースポーツ」の体験コーナーを実施します。「ラダーゲッター」「カーリンコン」・・・各地で様々な種類のニュースポーツが親しまれていることをご存じですか？体験すれば、きっとその魅力が分かるはず！



ニュースポーツ ラダーゲッター



吸って！吸って！肺活量チェック

さらに、どの家庭にもあるような、あんなもの・こんなものを使って行う「体力チェック」の実施も予定。ぜひトライしてみてください。

「プレミアムトールライブ」がトリを飾ります。このほか、今年度の「全日本高校・大学ダンス部の皆さんが出演、華麗なる」ダンスフェスティバル」で特別賞を受賞した、新潟医療福祉大学ダンス部の皆さんが出演、華麗なダンスを披露します。こちらもお見逃しなく！



ダンスを披露します。こちらもお見逃しなく！

### 福祉・介護・健康情報コーナー

県内外の企業・団体が一同に集まり、福祉・介護・医療・健康に関する最新の機器・用品の展示や、サービス等の紹介をするブースを出展します。

### 福祉のよろず相談コーナー

福祉サービスを利用する際の手順、あるいは福祉の現場に就職するためのポイントなど、福祉に関わる相談をお受けします。

### 子ども広場

「木工教室」「新聞ロール紙を使った落書きコーナー」「運動教室」など楽しいプログラムが盛りだくさん！

### パレット周年祭

障害のある方が心を込めて作った製品を販売します。2店舗以上で買い上げの方は、ハズレなしのガラポン抽選ができます！

# 社協トップ集い一体感深める

## 燕市社協など会場に初の市町村社協会長視察研修

初めての市町村社会福祉協議会会長視察研修が、9月10、11の両日、燕市社協などで開かれました。社協のトップが共に現場を見、意見を交わすことで一体感を深め、大きな流れをつかんでほしいと、新潟県社協が企画しました。

県内21社協の会長（一部、副会長、専務理事が代理出席）が参加。着任間もない



写真① 燕市社協での研修



写真② キャンドルづくり視察

北窓隆子副知事も特別参加し、意欲的に地域福祉に取り組み燕市社協を視察しました。

最初の研修会場は、障害者就労支援施設を併設する燕支所。野瀬清一・事務局長ら4人が、権利擁護事業、コミュニケーションシヤルワーカー（CSW）を配置しての地域支えあい活動など、新たに作成したDVDも駆使して熱く語りました

その後、北窓副知事も加

わり、就労支援センター「つばめキャンドル」

写真②

「ふれあい喫茶ぽぽ」を視察しました。支援センターでは、結婚式用ロウソクを再利用した、幸せのおすそわけ、キャンドルを作っています。ここで、利用者が生き生き働く姿をしっかりと目に刻みました。

続いて旧吉田町庁舎を改築、5月に移転したばかりの法人本部に移動、燕市デマンド交通おでかけ「きら



写真③ 工夫を凝らした「きららん号」予約センター



写真④ 懇談で感想を述べる北窓副知事(右から3人目)ら

「きららん号」（弥彦村も利用）の予約センターなどを見学しました。「きららん号」は、バス並み料金で利用できる、いわば乗り合いタクシー。人気も高く、予約電話も次々掛かっています。オペレーターは一目で状況が分かるよう工夫した運行表を手作り、手際よく対応していました

写真③。

法人本部での視察は、強く北窓副知事の心に残った様子。情報交換会前に、岩室温泉ほてる大橋ロビーで竹内希六・県社協会長、燕市社協・青柳芳郎会長と新潟医療福祉大学社会福祉学

科長の松山茂樹教授と懇談

写真④

「お出かけ弱者が増えるだけに（きららん号の）取り組みは素晴らしい」と評価、竹内会長も「お年寄りには使い勝手がいい」と同調していました。それに対し青柳会長は「定期券もあります。（利用者）に喜ばれるよう考えます」と応えました。

また副知事は、旧庁舎の有効活用そのものも感心、「県も明るい未来が描けるよう全力を傾けていきたい」と語りました。

2日目の朝、松山教授が「市町村社会福祉協議会と地域福祉事業」について、地域包括ケアシステムと権利擁護を中心に話題を提供

写真⑤。

各会長は、前日の視察内容も含め、活発に意見や質疑を交わしました。



写真⑤ 講義する松山教授

ふと、ある記事が目に残りました。それは、自閉

症や発達障害の方の「生活支援グッズ」について。「てをあらう」「ごはんをたべらる」「〇〇へいく」といった、一つひとつの生活動作がイラストで示されている絵カードや、それぞれの日付ごとに透明なポケットがついたカレンダー等、特徴的なグッズが紹介されていました。

自閉症の方にとって分かりやすいのは、聴覚よりも視覚からの情報だといえます。目に見えない事柄（行

動、物事の程度、数量等）を、絵や写真、あるいは具体的な言葉で示すことで、「自分が何をしたらいいのかわからないのか」「何をしたいのか」「何をしたらいいのかわからないのか」がイメージしやすくなります。

また、「予想できない事柄」への適応が難しく、例えば急なスケジュール変更など、先の見通しが持てない状況が苦手な傾向にあるというのも、障害上の特性のひとつです。場合によってはそれが原因でパニック

状態になってしまい、物に当たったり、自分自身を傷つけたりしてしまうこともあります。

これらは、学生時代に知的障害のある方や自閉症の方の外出を支援するスタッフをしていった際に学んだことです。障害の特性を踏まえた「寄り添う支援」が、穏やかなコミュニケーションを生み出すことに感銘を受けたことを、今もはっきり覚えています。

障害のために他者と意思

疎通を図ることが難しいという事実は、周りの支援者もさることながら、何よりも本人が一番苦しいところではないでしょうか。お互いに分かり合うための工夫を積み重ねていくことが、より良い暮らしへと繋がる。：当たり前とはいえは当たり前、けれどもこれが、いつも忘れてはいけない大切な考えであるように思えます。

(実央)

## Dr.ヤマゴンの 健やか 通信

その十一

ヤマゴンの毎朝の食卓に欠かせないもの、それはヨーグルトとフルーツです。市販のものでは飽き足らず、自宅でヨーグルトを作っています。今回はその

作り方を紹介しましょう。ヨーグルトにはお腹の調子を整え「通じ」がよくなる効果、フルーツにはカリウムを摂りナトリウムを排出を促す効果があります。まさに一挙兩得ですね。

作り方は、最初はヨーグルトの粉末を買ってきて、ガラスの容器に入れ、温めた牛乳を混ぜ、一日置いておくだけです。翌日からはその一部を牛乳で薄めて、

作っては食べるという繰り返しです。

長続きのコツは雑菌を入れないこと。ヨーグルトは納豆と同じで、いわゆる善玉菌と呼ばれる乳酸菌（ビ

## ヨーグルトとフルーツ

フィズ菌など）が発酵してできます。これらの菌は、身の回りには雑菌に比べて繁殖する力が弱く、雑菌が混じると「生存競争」に負けてしまいます。

容器を清潔にするのに、煮沸消毒を毎回やると手間がかかりますので、ガラスの容器を電子レンジにかけ、滅菌します。牛乳を温めるミルクパン（小さい鍋）は牛乳専用です。

ヨーグルトを牛乳と混ぜ合わせるスプーンは、コンロの火で軽くあぶってかから使います。温度は「人肌程度」と



言われますが、手のひらに少し落としてみて、あたたかさと感じる程度でよいでしょう。

フルーツの量は、1人前でパイナップル4分の1個、リンゴ4分の1個、バナナ2分の1本です。そこに約200mlのヨーグルトをかけて毎日食べるわけですから、運動しないと体重が増えるのも仕方ない？ いや、これは言い訳ですね。

# 私のソウエルクラブ活用法

社会福祉法人 秋葉福祉会 特別養護老人ホームはさぎの里

総務課長 鶴巻 晴美

当法人は、ソウエルクラブ設立時から会員となり、職員の福利厚生の実に活用しています。その中で、事務担当であったこともあり、事業所として活用できるものは利用してきましたし、個人的にも様々なことでお世話になっていきます。

普段、仕事に追われ、なかなか自分でチケット購入などの手続きが面倒で、子供ができてからはコンサートとは無縁の生活を送ってきました。しかし、ソウエルクラブのメニューを利用し始めてからは、割引もあるので、いろいろなジャンルのコンサートに参加させてもらっています。また、ミールクーポンを利用して女子会を行ったり、温泉で

リフレッシュしたり、旅行をしたりとちよつとお得気分で楽しんでいきます。

利用しているものがほとんど地域開発メニューのもので、年々メニューも増加し、そのため割引率が以前より少なくなっています。面倒くさがりの私にとっては、若干の割引でもメニューが多くある方がいろいろ楽しめて良いのです。開発メニュー担当者の苦労が感じられます。

今年度からネットでの申し込みが始まり、特に事務担当としては、名前から番号が検索でき、とても手続きが楽になりました。

今後、会員が増え、ますます充実することを願っています。

## これからも注目事業が盛りたくさん！ 平成27年度会員交流事業実施計画

実施予定事業名 (主催会社等)	開催月日	開催地	募集人数
ちよつとセレブに日帰り温泉でプラスアルファのリフレッシュ県内10ヵ所以上	平成27年10月5日(月) ～平成27年12月21日(月)	上・中・下越指定店舗	120人
ぐるめでリフレッシュ ミールクーポン	平成27年12月1日(火) ～平成28年3月31日(木)	上・中・下越指定店舗	250人
だれでも知ってる全国チェーン店の お店でワイワイ使おう！ (予定)	平成28年1月4日(月) ～平成28年3月31日(木)	上・中・下越指定店舗 (予定)	200人 (予定)
心屋仁之助 公演会	平成27年11月18日(水)	新潟県民会館 (新潟市)	20人 (予定)
舞台「かたき同志」	平成27年12月26日(土) 昼の部:開演13:00 夜の部:開演18:00	新潟県民会館 (新潟市)	各20人 (予定)
ウィーン・ヨハン・シュトラウス管弦楽団 ニューイヤー・コンサート2016	平成28年1月9日(土) 14:00開演	りゅーとぴあ・コンサートホール	20人 (予定)
キエフ国立フィルハーモニー交響楽団	平成27年12月27日(日) 15:00開演	りゅーとぴあ・コンサートホール	20人 (予定)
安室奈美恵 namie amuro LIVEGENIC 2015-2016	平成28年1月17日(日) 開演17:00	朱鷺メッセ	26人 (予定)
その他:今後も新しい事業、コンサート等計画中です。	計画中	計画中	計画中

\*日程・内容等一部変更・中止になる場合があります。

～ソウエルクラブに関するお問い合わせは～ 福利厚生センター新潟県業務受託団体 新潟県社会福祉協議会 福祉人材課 山井  
電話:025-281-5526 FAX:025-281-5528

年末年始のご旅行の予定はお決まりですか？

まだまだ間に合います。海へ、山へ、温泉へ。みんなでわいわい家族旅行

★台湾? ハワイ? オーストラリア? 海外旅行もちろんお任せください★

ちょっと待ってください。  
JTJの商品は旅行だけではありません

贈り物にギフト券(商品券)や体験型カタログ  
ギフトを贈ってみてはいかがでしょうか

JTBでは【旅行券・ギフト券・カタログ  
ギフト商品】を各種取り揃えております

～～～皆様の旅のこと贈り物のこと、何でもお気軽にご相談ください～～～

(株)JTB関東 法人営業新潟支店 / 新潟市中央区東万代町1-30 新潟第一生命戸田建設共同ビル3階  
電話.025-255-5101 FAX.025-248-7687

# 全国200万人加入!! 日本国内でのボランティア活動中のケガや賠償責任を補償 ボランティア活動保険



## 対象となるボランティア活動

- ◆グループの会則に則り企画、立案された活動であること  
(グループが社会福祉協議会に登録されている必要があります。)
  - ◆社会福祉協議会に届け出た活動であること
  - ◆社会福祉協議会に委嘱された活動であること
- ※活動のための学習会または会議などを含みます。  
※自宅などとボランティア活動を行う場所との通常の経路による往復途上を含みます。(自宅以外から出発する場合は、その場所と活動場所への往復途上となります。)

## 保険金をお支払いする主な場合

- 清掃ボランティア活動中、転んでケガをして通院した。(ケガの補償)
- 活動に向かう途中、交通事故にあって亡くなられた。(ケガの補償)
- 活動中、食べた弁当でボランティア自身が食中毒になって入院した。(ケガの補償)
- 家事援助ボランティア活動で清掃中、誤って花瓶を落としてこわした。(賠償責任の補償)
- 自転車でボランティア活動に向かう途中、誤って他人にケガをさせた。(賠償責任の補償)

## 補償金額(保険金額)・保険料

		Aプラン	Bプラン	
ケガの補償	死亡保険金	1,200万円	1,800万円	
	後遺障害保険金	1,200万円 (限度額)	1,800万円 (限度額)	
	入院保険金日額	6,500円	10,000円	
	手術 保険金	入院中の手術	65,000円	100,000円
		外来の手術	32,500円	50,000円
	通院保険金日額	4,000円	6,000円	
	特定感染症の補償	上記後遺障害、入院、通院の各補償金額(保険金額)に同じ		
賠償責任の補償	葬祭費用保険金 (特定感染症)	300万円 (限度額)		
賠償責任の補償	賠償責任保険金 (対人・対物共通)	5億円 (限度額)	5億円 (限度額)	
	年間保険料	基本タイプ	300円	450円
天災タイプ <sup>(※)</sup> <small>(基本タイプ+地震・噴火・津波)</small>		430円	650円	

(※)天災タイプでは、天災(地震・噴火・津波)に起因する被保険者自身のケガを補償しますが、賠償責任の補償については、天災に起因する場合は対象になりません。

## ボランティア行事用保険 (普通傷害保険、国内旅行傷害保険特約付傷害保険、賠償責任保険)

地域福祉活動やボランティア活動の一環として行われる各種行事におけるケガや賠償責任を補償!

- 行事参加者(主催者(個人)を含みます。)全員のケガを補償(往復途上も含みます。)
- 行事主催者の損害賠償責任も補償

## 送迎サービス補償 (普通傷害保険)

送迎・移送サービス中の自動車事故などによるケガを補償!

- 送迎・移送サービス利用者を特定したAプラン
- 送迎・移送サービスのための自動車を特定したBプラン

## 福祉サービス総合補償

(普通傷害保険、賠償責任保険、約定履行費用保険)

ヘルパー・ケアマネジャーなどの活動中のケガや賠償責任を補償!

- 在宅福祉サービス (公的介護保険対象外サービスを含みます。)
- 障害福祉サービス
- 児童福祉サービス
- 障害者地域生活支援事業
- 地域福祉サービス
- 介護保険サービス など

● お申込み、パンフレット・詳しい内容のお問い合わせは、あなたの地域の社会福祉協議会へ ●

団体契約者 **社会福祉法人 全国社会福祉協議会**  
(引受幹事保険会社) 損害保険ジャパン日本興亜株式会社  
TEL:03(3593)6824

取扱代理店 **株式会社 福祉保険サービス**  
〒100-0013 東京都千代田区霞が関3丁目3番2号 新霞が関ビル17F  
TEL:03(3581)4667 FAX:03(3581)4763  
受付時間: 平日の9:30~17:30(12/29~1/3を除きます。)

●この保険は、全国社会福祉協議会が損害保険会社と一括して締結する団体契約です。

# 福祉の店 味わい散歩

## のんびりサックス

特定非営利活動法人 のんびり青山の会

(新潟市西区小針5-26-2)

◇9時～16時

◇土・日・祝日休み

◇TEL 025(230)5747



## 刺身がイけるPONPONこんにゃく

真夏の一夜、新潟駅南口に光と音、そして人々の笑顔がはじけた。

PONPONナイト★カーニバル。「のんびりサックス」が、2年前から実施しているイベントだ。「サックス」は、「積極的

に地域に向く。イベントもその一環。タイトルは、自慢の「PONPONこんにゃく」から付けた。

こんにゃく作りは大変だが、メンバーの目は輝いている。使うのは、上州・渋川産のこだわりの芋。皮をむき、適当にカットし、五頭山麓の湧水とともにミキサーで砕く。火にかけ、15分ほどトロトロ煮詰める。



火から下ろした後は、時間との勝負。あっという間に固まる

ため気が抜けない。手早くかき混ぜ、分量を量り、丸く整形する。この時、空気を抜くため両手でポンポン弾ませる。これが、名前の由来。ゆでて一晩水にさらせば出来上がり。

歯切れよく、とにかく美味いお刺身こんにゃく「生いも」(300円)。「よもぎ」「唐辛子」(各250円)もイける。梅酢などで味付けした各種お総菜こんにゃくもお勧めだ。

同会のほか、ピア万代(新潟市中央区万代島2)やセブンイレブン東明2丁目店(同市東区)など新潟市と湧水の阿賀野市で販売。老人ホームなどでの訪問販売も喜ばれている。

## 福祉NEWS

2015年8月11日～9月10日

■要介護認定600万人超す 国民の20人に一人 介護離職者も急増  
厚生労働省によると、2015年3月時点で要支援・要介護の認定を受けた人は606万人と前年同月に比べ22万人増えた。600万人超えは、年度末ベースでは初めて。国民のほぼ20人に1人にあたる。また、厚生労働省の雇用動向調査によると家族の介護のために仕事を離れた人は13年に9.3万人と、前年から41%増えた。5年前の2倍となり4分の3が女性で40代後半から50代が多い。

■母子世帯の6割が収入200万円未満 ひとり親世帯の生活実態調査  
県内の母子世帯の半数が非正規雇用で、6割が収入200万円未満であることが8月21日までに、新

潟県のまとめで分かった。父子世帯も200万円未満が4分の1で、母子世帯、父子世帯とも仕事や生活費に不安を抱えている現状が浮かび上がった。調査はひとり親世帯の生活実態や就業状況を調べるため、県が2014年夏に実施した。2003、2008年度に続いて3回目、計1952世帯から回答を得た。県は子どもの貧困の解消に向けた県計画の策定を進めており「結果を計画や支援に生かしたい」と話している。

■介護業者破綻、最多ペース 上期5割増  
介護事業者の経営破綻が急増している。東京商工リサーチによると今年1～6月の介護事業者の倒産(負債額1000万円以上)は41件で前年同期を46%上回った。年

間では過去最多を更新する勢いだ。高齢化で介護需要は高まっているが、人手不足に伴う人件費上昇などが経営を圧迫している。4月から介護報酬が2.27%引き下げられた影響でさらに増える可能性もある。景気の回復を背景に全産業の倒産は10%減っており、介護分野の増加傾向が鮮明になっている。

### ■ケアプランに自己負担1割 厚生労働省検討

厚生労働省は、高齢者らの介護サービス計画を作る在宅介護支援(ケアマネジメント)で一部自己負担を求める検討を始める。今は全額介護保険でまかなっているが介護給付費の膨張を抑えるため、1割を自己負担にする案が浮上している。対象は介護保険利用者のほぼ半数で300万人を超える見通し。2018年度の介護報酬改定に合わせて導入を目指す。

これからの

# 地域リハビリテーションと福祉を考える

大学院保健学専攻長・理学療法学科教授

小林 量作

新潟医療福祉大学



(こばやし・りょうさく)

- 理学療法学科教授
- 新潟県介護予防市町村支援委員会  
新潟市健康づくり推進委員会  
新潟県老人クラブ連合会健康づくり推進部会
- ※研究分野  
高齢者の健康増進、介護予防

## 元気高齢者が先輩高齢者支える仕組みづくりを！

超高齢社会の大きな課題の1つに要介護者の増加が挙げられます。平成12(2000)年に介護保険制

度が施行され、17年度からは、新たに介護予防給付事業が導入されましたが、事業への参加者は国の見込みを大きく下回っています。

「ことになりました。心身の機能の改善だけを指すものではなく、日常生活の活動を高め、家庭や社会への参加を促し、それによって一人ひとりの生きがいや自己実現のための取り組みを支援します。これは高齢者の生活を、心身機能、日常生活の活動、社会的参加からとらえる国際生活機能分類(ICF)の理念に基づいています。事業の中で理学療法士、作業療法士、言語聴覚士のリハビリテーション関連職種が重視されています。

地域リハビリの話題として2点紹介します。一つ目は地域包括ケアにおける県内

ています。平成23年に地域住民からサポーターを募集して研修を開始、これまでに200人以上が修了しました。

サポーターは、サロン開催時にリーダーとなつてロコモ予防運動を30分から60分くらい運営します。その結果、平成26年度にはサロン数37カ所、サポーター活動延べ回数541回、参加延べ人数10,261人に運動指導ができました(表)。

サポーターの提出活動集計より

	取り組み団体数	活動回数	参加延人数
22年度	5	56	1,332
23年度	15	86	2,114
24年度	25	137	2,439
25年度	33	393	8,139
26年度	37	541	10,261

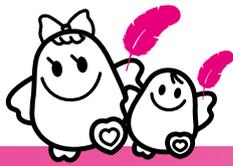
27年度から地域包括ケアシステムの導入により、地域支援事業の中で元気高齢者や虚弱高齢者、要介護高齢者に対して「医療・介護・予防・住まい・生活支援が一体的に提供され

る」ことになりました。心身の機能の改善だけを指すものではなく、日常生活の活動を高め、家庭や社会への参加を促し、それによって一人ひとりの生きがいや自己実現のための取り組みを支援します。これは高齢者の生活を、心身機能、日常生活の活動、社会的参加からとらえる国際生活機能分類(ICF)の理念に基づいています。事業の中で理学療法士、作業療法士、言語聴覚士のリハビリテーション関連職種が重視されています。

二つ目は、元気高齢者が介護予防サポーター(ボランティア)になり、ふれあい・いきいきサロン会場を利用して月に1~2回の教室運営に活躍していることです。事業は新潟市秋葉区高齢福祉課と新潟医療福祉大学理学療法学科が共同で実施し

このような規模は、市町村職員だけでは困難で、地域住民のマンパワーを活用することが重要であることを教えてくれます。つまり、元気高齢者がサポーターになり、より先輩の高齢者を支える仕組みづくりです。

地域包括ケアは、「住み慣れた地域で尊厳ある暮らしを続ける」ための「まちづくり」でもあります。地域のリハビリ関連職や元気高齢者が「まちづくり」にも関わることがこれから求められると思います。



# Information Red Feather 赤い羽根情報

## ポスターモデル今年も ねぎっこ Negicco

一昨年、昨年に引き続き、新潟県の赤い羽根親善大使であるNegiccoの協力をいただき、県オリジナルポスターを作成しました。新潟発のアイドルとしてオリコンにランクインするなど全国的に人気があるNegiccoをポスターモデルとし、募金運動と一緒に元気に楽しく盛り上げて行きます。



## 赤い羽根共同募金運動 スタート

今年で六十九回目を迎えた共同募金運動が十月一日からスタートしました。今年の目標額は四億八千四百七十七円とし、県内各地で募金運動を実施します。皆様のご協力よろしくお願ひします。

## 妖怪ウォッチ×赤い羽根 共同募金コラボレーション

北海道共同募金会では妖怪ウォッチ制作委員会の協力で、子供たちに「思いやりの心」や「助け合うことの意義」などを分かりやすく、親しみやすく伝える

ためコラボ資料を作成しました。当県では幼稚園・保育所、小学校のポスターとして活用します。



## コメリ各店に募金箱設置

(株)コメリのご協力で県内各店舗に知的障害者授産施設青松ワークスで作製した県産杉の募金箱を設置していただけることになりました。コメリで買い物の際には募金協力もお願いします。

## 県遊技業協同組合から 移送用車両を贈呈

七月二十四日、県遊技業協同組合寄付金による障害者施設への車両贈呈交付式が行われました。交付式では遊技業組合佐藤孔一理事長が「今後も社会の一員として利益を還元していきたい。」とあいさつされました。



当会小田会長から、今回車両の贈呈を受けた障害者支援施設かたくりの里(新潟市)となかまの家(十日町市)へそれぞれ助成金の目録を手渡しました。



改造も  
します。

## 人にやさしい車

福祉車両のこまつが新潟より全国へお届けします。

# 福祉車両専門店

買いたい!

福祉車両の  
新車・中古車販売!  
常時展示中!

売りたい!

福祉車両の買取  
ご相談ください。

直したい!

自社整備工場完備!  
福祉車両の代車無料。



福祉車両のこまつ  
株式会社 オートモティブコマツ  
新潟県三条市小古瀬31  
http://294komatsu.com  
TEL 0256(45)3000

# 福祉の現場

菅原 清夏さん

(関川村社会福祉協議会総務課地域福祉活動係・歯科衛生士)

## No.6

とにかく笑顔が絶えない。口を突く言葉の一つ一つに、微笑みが、明るさが乗っかっている。そんな清夏さんに歯の指導を受けたら、一も二もなく納得してしまうような気がするから、不思議。

新潟大学歯学部口腔生命福祉学科を卒業、関川村社協に入って4年目になる。初めは戸惑いもあったそうだが、今では楽しくて仕方ない様子。介護予防のため、地域の茶の間などで歯の健康を訴え、手入れの指導をしている。高齢者が何十年と重ねてきた習慣を改善、「良くなったよ」と言われた時のうれしさは格別なものがあるようだ。



### 笑顔絶えぬ、高齢者の守り人。食べる楽しみと健康届ける。

歯は体の入り口にある。その健康を守ることは「全身の健康に関わる」。口の中は、適度な温度で湿り気もあり、次々に栄養が届く。歯周病菌にとって最高の環境。ぬくぬくと増殖した菌は、肺炎や糖尿病、心臓病などに悪さを働く。防ぐには「正しい歯磨きしかない」。

そして、しっかり磨くため、歯ブラシの交換は1カ月が目安。ブラシが潰れると「6割程度しか磨けない」という。気配りが大事なのだ。

飲み込む力を高めるため口の周りを鍛える「お口の体操」も指導する。呑み込むとき「肩など40くらいの筋肉が働いている」とか。むせたときなど腹筋に力を込めないと「うまくつかえが取れない」という。

介護予防の推進に、地域福祉係配属の歯科衛生士はまさに適任。いろんなタイピングを捉え積極的に指導できる。でも県内広しといえどあまり聞かない。もっと増えるといいと思うのだ。

## 福祉の店パレット

地域活動支援センター  
陽 廣 園  
(新潟市西区)

### 【施設紹介】

ひとりひとりの個性を大切にしながら、通所者の皆さんが楽しく通える施設となるように努めています。



### 【商品説明】(税別価格)

☆「木ままクラフト」⇒写真手前  
▽動物クラフト(500円)

犬、鳥、ウサギなど、粗削りのままの動物たち。サンドペーパーでお好みに仕上げてください。県内産のイチョウ材を使用しており、お子様にも安心して作っていただけます。

☆「木工品いろいろ」

▽アクセサリーホルダー(800円)⇒写真奥

葉っぱの穴にはピアスを差し、枝にはリングやフックタイプのピアスをかけたりできます。このほかにも「木のバッジ」(350円)などがあります。

問い合わせ

福祉の店パレット新潟店  
県社協 地域福祉課

☎025-281-5513  
☎025-281-5521

この機関誌は、  
赤い羽根共同募金の  
助成を受け発行しています。



発行所/社会福祉法人 新潟県社会福祉協議会  
新潟市中央区上所2-2-2ユニゾンプラザ  
☎ 025-281-5520  
発行人/土屋 良治  
定 価/5円(会員の購読料は会費に含む)

福祉にいがた  
平成27年10月1日発行(毎月1日発行)  
昭和27年9月16日 第三種郵便物認可  
印刷/島津印刷㈱